

やお市議会だより

12月定例会号 令和8年(2026年)1月20日号 vol.333



特集

大学生と議員が八尾の未来を語り合う

大阪経済法科大学 × 議会だより編集委員会

未来会議レポート

グループディスカッションでは、2つのテーマについて意見交換を行いました。

1つ目のテーマは「つい見ちゃう議会だより」として、より多くの方、特に若い世代の方にも議会だよりを読んでもらうためにはどうしたらいいかを考えました。

2つ目のテーマは「八尾市にこんなことやってほしい」「八尾にこんなあったらいいな」として、八尾市の現状を踏まえ、ずっと住み続けたいと思うまちにするためには何が必要かを考えました。

大学生の目線での意見をたくさん出し合い、最後には議場においてグループでまとめた意見を発表しました。

グループディスカッション Part1 「つい見ちゃう議会だより」

大学生の意見 (一部抜粋)

- ・「いくら使ったのか」を数字で明記し、分かりやすく伝える。
- ・「市議会って何をしているの?」が分かる基礎ページを設ける。
- ・次回予告や継続企画を載せ、「また読みたい」と思わせる構成にする。
- ・「〇〇決定!!」など、漫画のような見出しで内容を直感的に伝える。
- ・派手な色・大きなタイトル・イラストやキャラクターを使い、手に取りたくなる表紙にする。
- ・専門用語はできるだけ使わず、必要な場合は振り仮名や簡単な説明を入れる。
- ・文字数を減らし、フォント変更や色分けで重要ポイントがすぐ分かる紙面にする。



グループディスカッション Part 2 「八尾市にこんなことやってほしい」 「八尾にこんなあったらいいな」

大学生の意見 (一部抜粋)

- ・道路の道幅を広くし、消えかかっている白線や高低差で見えづらい信号機の場所を改善し、自動車も自転車も歩行者も安全な道に。
- ・渋滞を緩和するため、右折の矢印信号機やレーンを増設してほしい。
- ・JR線と近鉄線をつなぐ交通連絡網があれば移動がしやすくなる。
- ・小学校の通学路に危険な箇所が多いので改善してほしい。
- ・大がかりなイルミネーションやライトアップなど、八尾に人が来てもらえる仕掛けをつくる。
- ・八尾の子どもたちが自分のまちに誇りを持つことができるように、八尾の特産品を様々な売り場でアピールする。
- ・八尾にしかない「全国一」と呼べるものをつくってほしい。



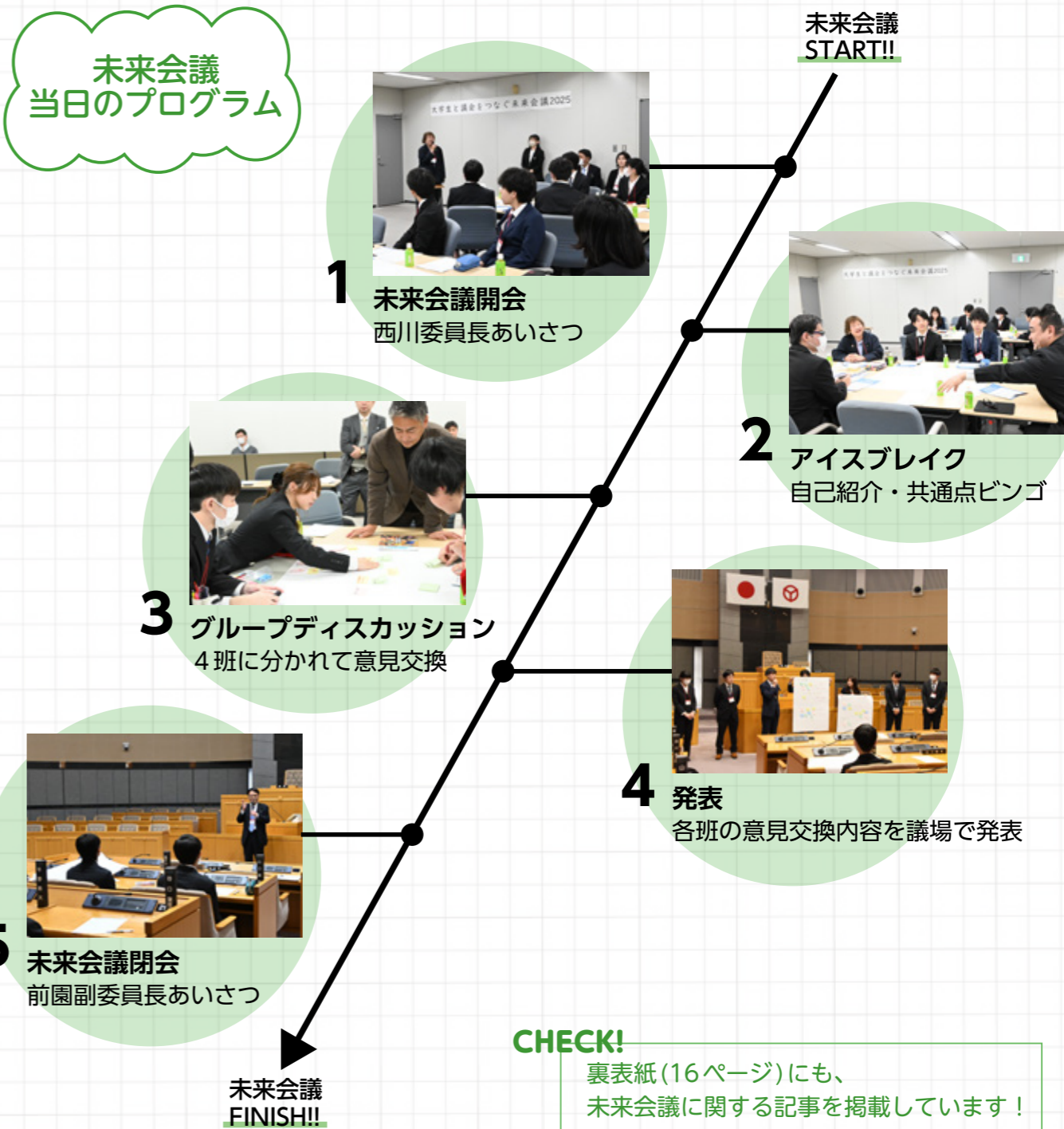
大学生と議会をつなぐ未来会議2025

大阪経済法科大学 × 議会だより編集委員会

八尾市議会では、これまで「市議会×高校生プロジェクト」として高校生との座談会など、若い世代との交流を通じて議会をより身近に感じてもらう取り組みを行ってきました。

今回、「大学生と議会をつなぐ未来会議2025」と題して、大阪経済法科大学の学生と議会だより編集委員会の議員が意見交換を行いました。

八尾市議会では大阪経済法科大学と地域連携に関する覚書を締結しており、これまでインターンシップ生の受入れや大学の授業への協力など、大学と連携した取り組みを行っています。



PICKUP
02

母子生活支援施設の長等の任用要件に こども家庭ソーシャルワーカーの 資格を有する者を追加

内閣府令の一部改正に伴い母子生活支援施設の長及び母子支援員の任用要件に「こども家庭ソーシャルワーカーの資格を有する者」を追加するため、八尾市児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正しました。



議員からの質疑を
ちょっとだけ紹介

Q

こども家庭ソーシャルワーカーの資格について、
どのような専門性を習得するものなのか。

A

子育てで困難に直面する家庭への支援体制を強化するため、複数の分野にまたがる困難を各関係機関と連携することや、子育て家庭に対するソーシャルワークスキルを高めることを目的とした資格である。

Q

八尾市内に母子生活支援施設は何か所あり、
どういった連携を行っているのか。

A

八尾市内に1か所あり、母子保護やショートステイ等の実施について委託しており、困難を抱えた方の支援を連携して行っている。

議会活動の記録

本会議 (11月28日、12月1日、17日、19日)	予算決算常任委員会（全体会） (12月16日、19日)
議会運営委員会 (11月14日、18日、28日、12月17日、18日、19日)	予算決算常任委員会（理事会） (11月18日、12月15日、17日、19日)
総務常任委員会、予算決算常任委員会（総務分科会） (12月11日、18日)	各派代表者会議 (11月14日、18日、12月18日)
建設産業常任委員会、予算決算常任委員会（建設産業分科会） (12月8日)	議会だより編集委員会 (12月2日、16日、26日)
文教常任委員会、予算決算常任委員会（文教分科会） (12月9日、17日)	意見書調整会議、幹事長会議 (12月17日)
予算決算常任委員会（健康福祉環境分科会） (12月10日)	

12

令和7年
12月定例会

令和7年12月市議会定例会を、11月28日から12月19日まで開会しました。
1～2日目に個人質問を行い、市政全般について質問しました。また、補正予算案などの議案を上程し、所管の委員会で審査しました。
12月17日の本会議において国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用した給付等に関する補正予算案を追加上程し、所管の委員会で審査しました。
最終本会議では、人事議案を追加上程し、すべての提出議案を可決・同意しました。

CONTENTS

- もくじ -

- P2 特集「大学生と議会をつなぐ未来会議2025」
- P6 個人質問
- 越智妙子議員/前園正昭議員/柴谷匡哉議員/
田中裕子議員/露原行隆議員/福永美智子議員/
西田尚美議員/鑄方淳治議員/松田憲幸議員
- P10 委員会審査の概要
- P12 常任委員会の所管事務調査
- P14 議決結果 請願審査結果 3月定例会の予定

ホームページへのアクセス

発言通告



議会映像



議決結果



市議会はココに注目

PICKUP
01

国の交付金を活用した物価高騰対策 市民の負担を軽減する支援策を実施

国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、長期化する物価高騰の影響を受ける市民の負担を軽減するため、給付金等を支給する費用として21億2,288万7千円を増額する補正予算を可決しました。



実施内容

- ①八尾市物価高騰対応市民応援給付金
(市民1人につき3千円給付)
- ②物価高対応子育て応援手当
(児童手当の支給対象児童1人につき2万円給付)
- ③水道料金（基本料金）減額
(水道料金の基本料金4か月分を無料)

▶委員会での審査内容は10ページ参照

個人質問

個人質問とは、議員が市政全般について、市民の代表として行う質問のことをいいます。八尾市議会では、答弁を含まず、1人30分の持ち時間となっています。

R7

12

月定例会



**高齢者の予防接種
効果的な費用免除を**

日本共産党
越智 妙子



Q 高齢者の定期予防接種において、生活保護受給者や非課税世帯については、費用の免除申請を行えば無料で接種できるが、制度の周知に課題があると考えます。他市では、免除の対象者にはがきを送付し、それを持参することで無料接種が可能となるが、本市でも導入してはどうか。

A 他市の状況を確認し、実現の可能性を含め調査していきたい。

Q 加齢性難聴者への補聴器購入助成事業に係る予算を増額し、助成対象者を拡充することはできないか。

A 補聴器購入助成は社会参加の促進を図ることを目的とした介護予防施策の一環として実施しており、助成対象者へのアンケート結果を踏まえ、今後の事業展開を検討していく。



高齢者の予防接種における免除申請制度の効果的な周知が必要である。

その他の質問等

- 憲法第25条で保障された最低限度の文化的な生活の保障という人間の尊厳を守る決意
- 八尾市犯罪被害者等支援条例



**ふるさと納税の仕組み
活用した楽器寄附を**

公明党
前園 正昭



Q ふるさと納税の仕組みを活用した楽器寄附は、寄附を受けた吹奏楽部の子どもたちを笑顔にし、寄附者も税額控除を受けるところができる大変有用な制度であると考えます。「吹奏楽のまち」をうたう本市として、ぜひ実施すべきではないか。

A 今後、費用対効果や他市の状況を踏まえ、学校や関係機関の意見を聞きながら、調査研究していきたい。

Q 毎年上昇している人件費等を踏まえ、指定管理料の年度ごとの見直しを検討してはどうか。

A 一定の変動については指定管理者の経営努力で対応することが基本だが、想定を超える急激な賃金上昇への対応に関しては、協議事項として対応を検討していく。



自宅に眠らせている楽器を寄附することで、吹奏楽に携わる子どもたちを応援できる。

その他の質問等

- 市内公立中学校における吹奏楽部の楽器購入予算
- 文化会館内における芸術文化相談窓口の設置状況

個人質問



斜面設置の太陽光発電設備は、環境・安全等への配慮が求められる。

その他の質問等

- 下水道料金の延滞金制度
- 太陽光発電設備設置の規制
- 高齢者単身世帯の実態把握
- 学習用端末の管理責任



**縦割り行政を解消し
ソーラー設備規制を**

八尾の未来を紡ぐ会
柴谷 匡哉



Q 斜面の太陽光発電設備の諸問題については、庁内横断で規制等を検討すべきでは。

A 適切な設置、維持管理のルールは必要であり、国の検討を注視したい。

Q 下水道料金について、延滞金制度の導入等を進めるべきと考えるがどうか。

A 実効性の高い債権管理に取り組んでいく。

Q 民生委員の活動支援強化に向け、必要な情報提供をすべきと考えるがどうか。

A 個人情報保護と地域支援のバランスをとしつつ、活動支援体制の構築に取り組む。

Q 小学校の学習用端末の管理責任について、放課後等デイサービス等の性質も踏まえた指針等を検討すべきだがどうか。

A 放課後等デイサービス事業者と学校、関係機関が連携し、児童一人一人の最善の利益を確保できるよう取り組む。



**ごみ収集の民間委託
受託業者が書類送検**

日本共産党
田中 裕子



Q 可燃ごみ等収集運搬業務の民間委託において、受託業者1社が外国人不法就労助長疑いで書類送検となった。その受託業者へは、責任者を含む労働者の出向が多数行われていた。出向元が労働者に給料を支払っていることは偽装出向や再委託逃れにつながる可能性があると考えます。受託業者に報告を求めるべきではないか。

A 具体的な法令違反が発生していないため、現時点では報告を求めることは考えていない。

Q 府立八尾支援学校では施設の老朽化や過密化といった課題があるが、市の認識は。

A 現状については十分認識しており、子どもたちの学びにとって教育環境は非常に重要と考えるため、環境整備の必要性を大阪府へ伝えていく。



生徒数に対して教室が足りないため、扉で区切って使用している。(写真：府立八尾支援学校)

その他の質問等

- 支援学校と地域の学校との居住交流の内容及実施状況
- 施設内虐待のガイドライン

学びの多様化学校とは

不登校の児童・生徒の実態に配慮した教育課程を編成し、一人一人の状況に合わせた教育を実施する学校のこと。一般の小学校、中学校、高等学校等と同じく卒業資格を得ることができる。

その他の質問等

- 公共施設等へのマイボトル専用給水スポットの設置
- キャリア教育と技術職の育成
- 学校教育と社会教育の学社融合



**新たな選択肢として
学びの多様化学校を**

八尾保守の会
露原 行隆



Q 不登校対策を超えた新たな学びの場の選択肢として、大きな可能性がある学びの多様化学校の設置を進めると同時に、柔軟なカリキュラムの編成を通じて、本市独自の学校のロールモデルを構築すべきだがどうか。

A 学校内外の居場所づくりなど、不登校児童・生徒の心に寄り添った支援を大切にしておき、一人一人のニーズに応じた多様な支援を充実させることにより、不登校者数が減少傾向となるなど、一定の成果を上げている。引き続き、社会的自立に向けた支援に努めるとともに、学びの多様化学校における取り組みを注視しつつ、効果的な取り組みについてさらなる研究を進める。

個人質問

公明党
福永 美智子
ふくなが みちこ



終活支援事業実施と
フレイル対策充実を



Q 身寄りのない方の不安に寄り添い、亡くなった後も個人の尊厳が守られるよう終活支援事業を実施すべきと考えるが、見解は。
A 身寄りのない高齢者等が増えている状況に課題認識を持っており、終活支援も含めた相談支援体制をより強化していきたい。
Q 住み慣れた地域で元気に暮らし続けられるよう、健康と要介護の中間の段階であるフレイルへの対策は重要である。ICTとデータを活用してフレイルの状況を「見える化」し、自身の改善を認識しながら健康増進につながる取り組みが必要ではないか。

A フレイル予防は非常に重要であり、市民一人一人の健康寿命を延伸するため、フレイル予防や介護予防のさらなる取り組みを推し進めていく。

終活支援事業とは

住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、意思疎通が困難になった時や亡くなった時に備え、延命治療やお墓のことなど自分の希望を自治体に事前登録する事業のこと。

その他の質問等

- 発達障がい児及び家族等支援において、ペアレントメンター派遣事業を活用した相談会・講演会等を開催すべき

公明党
西田 尚美
にしだ なおみ



周産期グリーンケア
事業の早期実施を！



Q 妊娠中から出産後に赤ちゃんを亡くした家族が抱える深い悲しみや喪失感に寄り添い、精神的なサポートを行う周産期グリーンケアについて、本市の産後ケア事業として実施すべきだがどうか。

A 産後ケア事業におけるグリーンケアの必要性を強く感じており、ケアが必要な方にしっかりと寄り添えるよう、他市の状況等の調査を含め、前向きに検討を進める。

Q 不登校児童・生徒への支援として、一人一人の状況に応じた柔軟な教育課程を編成し、居場所機能などを兼ね備えた学校形態である学びの多様な化学学校の設置が必要だと考えるがどうか。

A 不登校児童・生徒の支援のあり方の一つとして位置づけ、必要性や可能性を踏まえた調査研究を進めていく。



流産や死産を経験された方の悲嘆を少しでも和らげ、安心して過ごすことができるようにサポートしていく必要がある。

その他の質問等

- 女性のHPVワクチン定期接種率の向上
- 男性へのHPVワクチン接種費用助成制度の創設

無所属
鑄方 淳治
いかにた じゅんじ



特区民泊の既存施設
地域住民の安心を



Q 特区民泊の新規受付は終了したが、既存施設の営業は継続するため、地域住民が安心して生活できるよう、条例制定も含めたルール作りが必要と考えるがどうか。

A 特区民泊施設へは定期的な立入検査を行っており、これまで具体的な苦情等も特にない。今後、衛生面だけでなく騒音やごみ出しなどの問題が生じた場合には、関係部局との連携により対応を行っていく。

Q 公有地・公共施設の利活用に係るトライアル・サウンディング制度の導入について、民間事業者の試行的活用による成果を踏まえ、利活用の実効性が高まると考えるが、見解は。

A 公共資産等の有効活用につながる興味深い制度であり、本市で導入できる事業等について検討していく。



地域住民が安心して生活できるよう、特区民泊の既存施設の状況確認等が継続される。

その他の質問等

- 西部地域の整備事業における市営住宅や周辺公共施設のビジョン
- 民間活力導入の方針

▶ QRコードから、各議員の質問の映像を見ることができます。



少子高齢化が進み、介護保険給付が増加している状況において、給付の適正化は不可欠である。

その他の質問等

- 年度別万博関連経費の支出
- 万博開催中の本市への波及効果
- 大規模災害発生直後の誤情報拡散への対応策

八尾保守の会
松田 憲幸
まつだ のりゆき



福祉事業者の不正等
監査体制の強化を



Q 介護及び障がい福祉事業者への監査体制及び給付適正化に向けた取り組みはどうか。
A 従前から実施している運営指導等に加え、給付適正化を推進するためのプロジェクトチームを設置するとともに、介護事業者への運営指導を外部委託することにより、体制の強化を図り、囲い込み等の過剰サービスの防止を図っていく。

Q 介護事業者等の経営改善の観点から、国の重点支援地方交付金を活用し、市として支援してはどうか。

A 市民や事業者等の要望も含め、各担当課にヒアリングを実施する中で、どのような支援策を講じていくか決めていきたい。

ここで熱い議論が
繰り広げられる!!

本会議場 をのぞき見!!



議長席



議長が座り、議会の開会・閉会の宣言や会議の進行を行います。

執行部席



市長や副市長、各部局長などが座る席です。

傍聴席



半円形に配置された座席は86席あり、どなたでも議会の様子を傍聴できます。

演壇



議員や執行部が質問や答弁などを行います。

議席



議員が座る席で、机上には各議員の名前が書かれた名立てがあります。

3月市議会定例会から
リニューアル予定

NEWS

本会議場 & 第1委員会室の

音響映像システム等の機能更新 進行中！

目的

- 老朽化した機器等の更新により、円滑な議事運営、議会中継を視聴される市民への情報発信を推進します。
- 傍聴者の聞きやすさや分かりやすさに配慮した傍聴用設備を整備し、市民との情報共有を推進します。

委員会審査

総務 常任委員会・分科会

長引く物価高騰に対応する支援策 本市独自の給付等の内容は？

Q 国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用した、本市独自の給付等に係る補正予算が提出されているが、実施内容は？

A 長引く物価高騰の影響を受ける市民へ給付等を行うため、全市民1人あたり3,000円の市民応援給付金を支給する。また、水道の基本料金4か月分の減額を行い、一般世帯だけではなく事業所も対象とする。さらに、市民ニーズや課題を踏まえ、今回提案している内容の拡充も含めた支援策を検討しており、

調整が整い次第、速やかに追加提案を行う予定である。

Q 対象となる市民や給付の時期等、その詳細は？

A 市民応援給付金については、令和8年1月16日時点で本市に住民票がある方を対象とし、3月上旬までに通知を発送、3月末から順次振込を行う予定である。また、水道基本料金については、令和8年3月検針分からは、令和7年度に減額を適用する。順次、請求時に減額を適用する。



物価高騰の影響を受ける市民生活を支援するため、プッシュ型で迅速な給付を目指す。

委員会で審査した議案

- 八尾市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正の件
- 八尾市火災予防条例の一部改正の件

その他議案2件

分科会で審査した議案

- 令和7年度八尾市一般会計第7号補正予算の件（所管分）

その他議案5件

建設産業 常任委員会・分科会

災害時における排水設備等工事 指定業者の確保は？

Q 災害時などにおいて、他自治体の指定業者であっても排水設備等の工事を行うことができるようになるが、どのような状況の際にそれが可能となるのか？

A 本市の指定業者のみで対応することが困難であると判断された場合に限り、他自治体で指定を受けた業者が本市の工事を実施できるものとし、早期復旧を図る体制を整える。



災害時等において排水設備等の工事をするにあたり、指定業者を確保するために柔軟な運用が可能になる。

Q 新規での採用を含め、土木や建築などの技術職員を確保することが厳しい状況の中、後継者を育成しなければならぬと考えるが現状はどうか？

A 技術の承継については、人材を確保することが必要であると認識している。引き続き、人事部門と協議をしながら人材確保に努めるとともに、適切な職員の配置にも取り組んでいく。

委員会で審査した議案

- 八尾市下水道条例の一部改正の件

分科会で審査した議案

- 令和7年度八尾市一般会計第7号補正予算の件（所管分）

文教 常任委員会・分科会

産後ケア事業の利用者増加 実施施設の整備状況は？

Q 産後ケア事業の委託費として1,270万円を増額する補正予算が提出されているが、前年度と比較した利用状況の変化は？

A デイサービス型の利用が令和6年度の862日に対し、令和7年10月時点で741日と大幅に増加している。令和6年度に自己負担額を引き下げたことが、利用数の増加につながったと考えられる。

Q 産後ケア事業の利用者が増えているが、必要とされる方が漏れなく利用できる状況となっているのか？

A 令和6年度に5施設、令和7年度は現時点で2施設へ新たに委託しており、産後ケア事業を希望される方が可能な限り利用できるよう、環境の整備に努めている。

健康福祉環境 分科会

介護保険事業特別会計 大幅な増額補正の要因は？

Q 介護保険事業特別会計において、大幅な増額補正が必要となった要因は？

A 計画策定時の想定よりも保険給付費の伸び率が大きく増加したことやサービス付き高齢者向け住宅等の新規開設が相次ぎ、それに伴い給付費が急激に増加したことが要因である。

Q サービス付き高齢者向け住宅等の増加は見込めなかったのか？

A これらの施設は居宅として位置づけられていることから、把握が難しく、増加を事前に見込むことが困難であった。現在は

建築部局と連携し、施設建設の事前相談により、増加状況を把握できる仕組みを導入している。

Q 高齢化率の上昇に伴い、介護サービスの利用が増えることで、今後さらなる介護保険料の上昇が懸念される。市の見解は？

A 給付適正化や介護予防等により、給付費の上昇率をできるだけ抑制していきたい。



産後ケアを必要とされる方が利用できるよう、今後もさらなる環境整備が望まれる。

委員会で審査した議案・請願

- 八尾市児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正の件
- 小学校、中学校で国の定数基準を超えている学級の解消を求める請願の件

その他議案4件、請願1件

分科会で審査した議案

- 令和7年度八尾市一般会計第7号補正予算の件（所管分）

その他議案2件



高齢化と給付費増加を背景に介護保険制度の持続可能性が問われている。

分科会で審査した議案

- 令和7年度八尾市一般会計第7号補正予算の件（所管分）
- 令和7年度八尾市国民健康保険事業特別会計第1号補正予算の件
- 令和7年度八尾市介護保険事業特別会計第2号補正予算の件



▶ QRコードから、すべての委員会の映像を見ることができます。

常任委員会は、所管事務調査を実施して、市民生活に深く関わる課題について、先進都市への視察を含めた調査・研究を行っています。

視察の内容も生かしながら、今後の市政に反映していきます。

ホームページにはこれまでの所管事務調査の報告や市長からの処理経過と結果の報告を掲載しています。→→→



文教常任委員会

調査テーマ 小・中学校の適正規模等について

→ 本市では、今後、学校の小規模化がさらに進んでいくことが見込まれ単学級の学年では多様な考えに触れる機会が少なく、人間関係の固定化や教育活動が活発化しにくいことが課題。

視察先 静岡県沼津市

小・中学校の適正規模・適正配置について、基本方針や小中一貫教育を核としたコミュニティ・スクールとの一体的な取り組みなどの視察を行いました。

静岡県静岡市

小・中学校の適正規模・適正配置について、学校施設整備の考え方や対象となる学校や地区の選定方法などの視察を行いました。

今後の調査 児童・生徒数の今後の推計をはじめ、学校施設の老朽化状況等の分析や検証結果を基に、本市の事情に合った学校規模等の適正化について、調査・提言をしていきます。



教育の質のさらなる充実をめざし、小中一貫教育の推進を図っている。(沼津市)



小・中学校の適正規模・適正配置方針に基づき、子どもたちの教育環境の整備を進めている。(静岡市)

CHECK！ 議会の提案が市政を動かす 常任委員会の所管事務調査

調査テーマに基づき、先進都市を視察
先進事例と市の課題を研究し、施策提言につなげます

総務常任委員会

調査テーマ 働き方改革について

→ 本市では、職員の長時間労働の是正や年次有給休暇取得促進、また、人材育成や人材確保等の観点から、職員の働き方改革が課題。

視察先 大分県中津市

「書かない」「待たない」窓口の推進など行政 DX の推進や、人口減少・デジタル化等新たな課題に対応するための新しい組織体制の構築などについて視察を行いました。

大分県別府市

生成 AI と RPA を組み合わせた業務の効率化や職員の ICT スキル向上のための支援策などについて視察を行いました。

今後の調査 職員の勤務実態等の状況把握、若手・中堅職員を対象とした定着支援及び生成 AI や RPA 等による業務の効率化につながる調査・提言をしていきます。



自治体 DX の推進など行政サービスの高度化を進めながら行財政改革に取り組んでいる。(中津市)



生成 AI や RPA を活用し業務の効率化や職員の負担軽減、市民サービスの向上をめざしている。(別府市)

健康福祉環境常任委員会

調査テーマ 介護保険の適正化について

→ 本市では、少子高齢化の進行に伴い、要介護認定率や 1 人あたりの給付費が増加傾向にあり、今後もさらなる増加が見込まれることから、介護保険制度の持続可能性の確保が課題。

視察先 埼玉県入間市

介護認定調査と認定調査の DX 化について、支援システムの導入経過、システムの運用による業務効率化や費用削減効果などの視察を行いました。

神奈川県伊勢原市

介護給付適正化システムの運用による業務効率化や費用削減効果、運用上の課題や今後の展望などについて視察を行いました。

今後の調査 過不足のない適切な介護サービス利用が図られるよう、介護予防の推進や介護給付の適正化につながる調査・提言をしていきます。



介護認定調査でタブレット PC と支援システムを導入し、認定結果までにかかる期間の短縮を図っている。(入間市)



給付適正化システムを活用し多角的な観点からチェックをして、給付の適正化を図っている。(伊勢原市)

建設産業常任委員会

調査テーマ 産業政策に関する課題と現状及びアウトカム指標に基づいた評価手法について

→ 本市の産業政策では、アウトカム指標の導入や多角的なデータ分析が十分に進んでおらず、政策評価や PDCA サイクルの効果的な運用が課題。

視察先 岐阜県各務原市

産業振興ビジョンの基本指針や具体的方策、評価指標や目標値の設定方法及び進捗管理の手法などについて視察を行いました。

岐阜県関市

地域交流施設「せきてらす」について、施設概要や整備の経緯、集客の効果や施策の評価方法及び評価指標などについて視察を行いました。

今後の調査 従来の成果指標だけでなく、アウトカム指標の導入を進め、持続可能な地域発展と産業基盤の強化を実現し、地域全体の競争力向上につながる調査・提言をしていきます。



航空機や医療機器などの先端産業やそれらを支える素材材産業など多種多様な業種が存在している。(各務原市)



「せきてらす」は刃物や地元の文化、産業、人との出会いを楽しめる複合施設である。(関市)

令和7年12月定例会 本会議 議決結果

○賛成 ×反対 ー退場 (請願は○採択 ×不採択)

賛否が分かれた議案等

件名	議決結果	大阪維新の会	公明党	八尾保守の会	八尾の未来を紡ぐ会	新声	日本共産党	至誠会	会派に所属しない議員
		景山 和香 木村 健二 坂本 尚之 梶井政佐美 奥田 信宏	福永美智子 南方 武 五百井真二 前園 正昭 西田 尚美	川上 舞 松田 憲幸 露原 行隆 田中 久夫	柴谷 匡哉 西川 あり 吉村 拓哉	山中 宏 竹田 孝史	田中 裕子 越智 妙子	稲森 洋樹 田中 慎二	鑄方 淳治
令和7年度八尾市国民健康保険事業特別会計第1号補正予算の件 [反対1]	可決	○	○	○	○	○	×	○	○
八尾市生涯学習センターの指定管理者指定の件 [反対1]	可決	○	○	○	○	○	×	○	○
八尾市立用和小学校外10校給食調理場空調整備工事の工事請負契約締結の件	可決	○	○	○	○	○	ー	○	○
八尾市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正の件 [※1]	可決	○	○	○	○	○	×	○	○
八尾市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例制定の件 [※1]	可決	○	○	○	○	○	×	○	○
小学校、中学校で国の定数基準を超えている学級の解消を求める請願の件 [採択1]	不採択	×	×	×	×	○	○	×	×
子どものための予算を大幅に増やし、保育・学童保育の施策の抜本的改善を求める請願の件 [採択1]	不採択	×	×	×	×	×	○	×	×

◆竹田孝史議員は議長のため採決に加わらない。

[※1] 2件一括で反対1

全会一致の議案等

件名	議決結果	件名	議決結果
八尾市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正の件 [賛成1]	可決	八尾市職員給与条例及び八尾市会計年度任用職員の給与等に関する条例の一部改正の件 [※2]	可決
八尾市児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正の件	可決	令和7年度八尾市一般会計第8号補正予算の件 [※2]	可決
八尾市下水道条例の一部改正の件	可決	令和7年度八尾市国民健康保険事業特別会計第2号補正予算の件 [※2]	可決
八尾市火災予防条例の一部改正の件	可決	令和7年度八尾市介護保険事業特別会計第3号補正予算の件 [※2]	可決
令和7年度八尾市一般会計第7号補正予算の件 [賛成1]	可決	令和7年度八尾市後期高齢者医療事業特別会計第1号補正予算の件 [※2]	可決
令和7年度八尾市介護保険事業特別会計第2号補正予算の件 [賛成1]	可決	令和7年度八尾市一般会計第9号補正予算の件 [賛成1]	可決
令和7年度八尾市母子父子寡婦福祉資金貸付金特別会計第2号補正予算の件	可決	八尾市固定資産評価審査委員会委員を選任するについて同意を求める件 (永井秀人氏)	同意
(仮称) 八尾市消防署南西部消防署所新築工事の工事請負契約締結の件	可決		

◆竹田孝史議員は議長のため採決に加わらない。

[※2] 5件一括で賛成1

請願

国または地方公共団体の機関に対して、その職務に関する事柄について文書で希望を申し述べるもので、提出する場合は、議員の紹介が必要です。

所管の委員会で審査し、本会議で採決を行いました。

不採択 小学校、中学校で国の定数基準を超えている学級の解消を求める請願の件

[請願項目]

・市内公立小・中学校における国の基準以上（小学校36人以上、中学校41人以上）の学級の解消を求めます。

不採択 子どものための予算を大幅に増やし、保育・学童保育の施策の抜本的改善を求める請願の件

[請願項目]

・保育を希望しても入れない児童が今年250人以上います。希望する施設にすべての子どもを受け入れてください。

他4項目

八尾市議会 SNS

フェイスブック
Facebook
@yao.shigikai



エックス
X
@yao_shigikai



議会の映像配信



会議後、約1週間で
録画配信します。



3月定例会の予定

27日(金)	26日(木)	24日(火)	18日(水)	17日(火)	16日(金)	12日(水)	11日(木)	10日(火)	9日(火)	5日(木)	4日(水)	3日(火)	27日(金)	26日(木)	25日(水)	12日(木)	9日(月)
本会議(議案採決)	議会運営委員会	予算決算常任委員会(全体会)	総務常任委員会 予算決算常任委員会(総務分科会)	建設産業常任委員会 予算決算常任委員会(建設産業分科会)	文教常任委員会 予算決算常任委員会(文教分科会)	健康福祉環境常任委員会 予算決算常任委員会(健康福祉環境分科会)	健康福祉環境常任委員会 予算決算常任委員会(健康福祉環境分科会)	健康福祉環境常任委員会 予算決算常任委員会(健康福祉環境分科会)	健康福祉環境常任委員会 予算決算常任委員会(健康福祉環境分科会)	本会議(代表質問・個人質問)	本会議(代表質問)	本会議(代表質問)	本会議(代表質問)	本会議(代表質問)	本会議(代表質問)	議会運営委員会	議会運営委員会

大学生×八尾市議会

大学生と議会をつなぐ未来会議 2025

議員との意見交換を通じて、大学生の目線での貴重な意見を数多く聞くことができました。参加された大学生の皆さんからいただいた感想をご紹介します。

GROUP A



- ・八尾のまちづくりについて考え、積極的に発言する機会になるとともに、他の学生や議員の方から自分と異なる意見を聞くことができ、視野が広がりました。
- ・議員の方がどう市政に向き合っているかを知れ、予算的に実行が難しいこともあるといった話も聞くことができ、貴重な経験となりました。



GROUP B



- ・まちづくりに関して意見交換をする中で、普段、議員の方が八尾のまちの課題の解決に苦労されていることを知りました。
- ・初めて議員の方とお会いしましたが、学生の意見に寄り添いながら、より深い考えや具体的な内容を引き出してくれ、話しやすく親しみやすい方ばかりでした。



GROUP C



- ・意見交換を通じて、これまで身近ではなかった市議会の役割について考える機会となり、これから社会へ出るにあたり、意識が変わるきっかけとなりました。
- ・ジョークも交えた和やかな雰囲気です話やすく、議員の方ってこんなに面白いんだと感じ、とても有意義な時間となりました。



GROUP D



- ・これまで、まちづくりについて深く考える機会がなかったので、日常で感じる様々なことでも政治に関わっていると知りました。
- ・意見交換を行う中で、議員の方が、日々、試行錯誤しながら八尾をより良くしようと考え、行動されていることが分かり、行政について考える良い経験となりました。



編集後記

大阪経済法科大学の学生の皆さん、未来会議へご参加いただきありがとうございました。これからの社会を担う若い世代の率直な意見を聞くことができ、大変貴重な時間となりました。

議会だより編集委員会（◎委員長 ○副委員長）

◎西川 あり ○前園 正昭 景山 和香 柴谷 匡哉
川上 舞 山中 宏 田中 慎二 田中 裕子

各ページの縦帯の柄は八尾市の伝統文化である河内木綿の「二様菊花唐草文」の図柄をモチーフにしています。

やおい市議会だより vol.333
令和8年1月20日発行

編集・発行：八尾市議会 〒581-0003 大阪府八尾市本町一丁目1番1号
電話 072-924-3895 / FAX 072-922-4968 / Email sigikaijimukyoku@city.yao.osaka.jp

刊行物番号 R7-5